

令和4年度事業報告

1. 令和4年度の「葉山まちづくり協会」業務実績概要

NPO 法人として 20 年目となり、特定認定 NPO 法人として 7 年目にあたる本年は、中間支援組織として以下の「1」「2」を基本方針として、葉山町からの「葉山町協働推進事業委託」のほか、事業の活性化を掲げて活動する自主企画事業も加えて会員や登録団体とともに令和4年度事業を実施した。但し、新型コロナウイルス感染予防対策のため、遂行できなかった事業もあった。

1、まちづくり活動の拠点運営
2、まちづくり活動の支援 1) まちづくり活動への総合的支援 2) 地域資源情報の発掘と発信

1、については新型コロナウイルス感染予防対策として、

- ・ 入口に検温器・消毒剤を常備し、使用テーブルの消毒、マスク着用の徹底を促進し、引き続き感染予防対策を実施した。
- ・ テーブル配置についても人数制限を行い一団体のみの使用とした。それに伴いテーブル数を減らして、館内のソーシャルディスタンスを保つように努めた。
館内での来館者の導線を見つづ、流れがスムーズにいくようスペースを広げ、刊行物コーナー・お知らせコーナー等に興味が向くよう、配置・掲示方法を更に工夫を重ねた。
パソコン（Windows、Mac）は、来館者によく利用されている。

ホームページが町民にとって第一の情報源であるため、美しい写真を多用することで葉山らしさを強調し、親しみやすくより身近でわかりやすいホームページを意識した。特に地域活動に役立てられるような有用な情報の出し方を心がけ、また助成金の情報はもれなく掲載できるように徹底して掲載した。有益な情報の受・発信については日々改良を重ね、地道な維持・運営を行っている。

事業推進のための基本方針である2本柱をもとに、運営方針、事業計画を作成し、8人の理事・監事を中心に各事業の推進に取り組んだ。
次項で下記受託業務および自主事業の項目にもとづき実施内容を記載する。

2. 受託事業

(1) まちづくり活動情報の収集及び提供

- ①まちづくり活動団体及び関係機関が発行する機関紙や図書の収集及び提供
- ②まちづくり活動団体及び関係機関が行う行事・講座・支援情報の収集及び提供
神奈川県 NPO サポートセンターより発行される機関紙・県内活動団体チラシ、葉山まちづくり協会所属団体の機関紙及びチラシの収集・まちづくり館への配架、一部ホームページでの公開を行った。
- ③まちづくり活動に関する情報の発信
葉山らしさを P R するため、写真を効果的に使い、より身近でわかりやすく役に立つ有益な情報を発信するよう努めた。

カレンダーの掲載：

- ・まちづくり展、その他協会事業に関するもの 5 件ほど／月
- ・広報はやま「でんごんばん」「お知らせ」から 50 件ほど／月
- ・他のメディアから（タウンニュース、鎌倉朝日等） 2 件ほど／月
- ・団体や一般町民から ①まちづくり館への持ち込みチラシ 5 件ほど／月
- ・団体や一般町民から ②メールでの掲載依頼 2 件ほど／月

また、社会福祉協議会、教育委員会と連携し「はやま市民活動ガイドブック」の作成を行い、完成版をまちづくり館にて提供している。

④まちづくり活動に関する助成金情報の提供

まちづくり活動を支援する助成金及び補助金の情報を収集し、チラシをまちづくり館に配架しているほか、ホームページでも随時公開を行った。

(2) 相談業務

- ①団体の立ち上げ、NPO 法人の設立、団体運営、補助金申請などまちづくり活動団体等からの相談対応
- ②人材及び団体紹介など、住民からの街づくり活動に関する相談への対応
 1. 情報収集・取材の申込み 14件
 - ・町内取材のための情報・資料提供希望(TV、新聞、イベント、広報誌など)
 - ・文章校正のための史実確認の協力依頼
 - ・地域資源・景観に関するもの
 - ・まちづくり活動について など
 2. 事業協力依頼・視察 6件
 3. 刊行物・備品使用 4件
 4. その他
 - ・郵送、持ち込みによるイベントや講座チラシの配架、ポスター掲示依頼：20件ほど／月
 - ・散策に関する簡単な問い合わせ：5件ほど／月

- ・町内の小学校の図書館見学に伴うまちづくり館の見学依頼 ※今年度はなし
- ・登録団体依頼の看板(大型プリンター使用)ポスター作成、名刺作成など

(3) 交流・連携・啓発業務

①団体同士が交流できるまちづくり活動に関する行事の企画及び運営

町民、活動団体、行政の活動内容について情報交換を行う交流会(年2回)の実施

(ア) 交流会

- ・事業名：第1回交流会
- ・日時：令和5年2月4日(土) 13:00～16:00
- ・場所：図書館2階ホール
- ・参加者：48名(担当理事：川崎・高田・畑野、正会員ボランティア2名)
- ・交流会の概要
 1. 北川理事長挨拶
 2. 新理事挨拶(畑野、矢部、高田)
 3. 60歳からの音楽教室メンバーによるパフォーマンス
 4. 2021年度サポート費支給団体の成果発表
(環境ファミリー、郷土史研究会、葉山空手道協会、長柄・桜山古墳の会、メダカの会、山楽会、防災ネットワーク、東京都市大学田中研究室、森戸川村 / もりのわ、わかり・あ、)
- ・事業名：第2回交流会
- ・日時：令和5年3月26日(日) 16:00～17:30
- ・場所：福祉文化会館 大会議室
- ・参加者：22名(担当理事：川崎・高田・畑野、正会員ボランティア2名)
- ・交流会の概要
 1. 北川理事長挨拶
 2. 詩吟・詩舞連盟によるパフォーマンス
 3. 2022年度サポート費支給団体の発表
(東京都市大学田中章研究室、里山愛好会、森戸川村 / もりのわ、メダカの会、環境文化デザイン集団、リンドバーグ夢の模型飛行機愛好会、OK! ゼロ・ウェイスト、葉山芸術祭実行委員会)

②住民がまちづくり活動に対して興味を持ち、さらには地域で活動を始めるきっかけになることを目的とした企画及び運営

(イ)「きらく座」の企画・運営

毎回異なる多様なゲストの興味深い話題の提供と人材の掘り出し
ゲストの活動や体験に学び、葉山を見直す新たな視点で実施(5回)

- 5/27 「植物スケッチ画家」有田保影
- 8/26 「葉山の鳥たち」鈴木茂也
- 10/15 「ハワイエで聴いて&語り合おう」
 - ・三浦一族の歴史の講演 吉田和夫
 - ・葉山の自然を活かした子育てとは
- 12/16 「クリスマスの絵を描こう」岡田まり子

(ウ)「まちづくり館ギャラリー」「貸ギャラリー」展示

協会およびまちづくり館の周知を図るため企画展示を実施。さまざまな層の来館を促すため展示方法を工夫。「まちづくり館ギャラリー」では葉山の自然や歴史、文化に関する様々な情報を発信する努力を積み重ね 10 回の開催となった。

③団体のスキルアップを目的とした場の提供

外部講師を招聘した講演会(年 2 回)の企画及び運営(詳細別紙参照)

(エ)ローカルアクションフォーラム

- ・事業名：ローカルアクションフォーラム
- ・日 時：令和 4 年 5 月 22 日（日）13:30～17:00
- ・場 所：旧東伏見宮別邸
- ・タイトル：地域発住民主体アートプロジェクトとまちづくり
～葉山芸術祭 30 年と展望から～
- ・パネリスト：伊藤裕夫 葉山芸術祭顧問
水澤勉 神奈川県立近代美術館館長
清水敏男 学習院女子大学教授
松澤利親 葉山芸術祭実行委員 コメンテーター
平井宏典 和光大学教授
菊池尚 逗子アートフェスティバル実行委員長
朝山正和 葉山芸術祭実行委員
川崎直美 認定 NPO 法人 葉山まちづくり協会理事
- ・参加者：46 名
- ・講演会の概要
葉山芸術祭 30 年の 30 回を迎え、これを機会に地域で行われている住民参加・住民主導型アートプロジェクトの意味・意義を振り返り、葉山にとってのこれからのまちづくりとは？文化芸術でのまちづくりはこれからどんな形が可能か？を話し合い、考える。

(オ)講演会

- ・事業名：講演会①
- ・日 時：令和 5 年 3 月 19 日（日）14:00～16:30
- ・場 所：葉山福祉文化会館大会議室
- ・タイトル：葉山の山を考える ～身近なリスクに向き合うために～
- ・講師：増田佳恵氏（はやま防災ネットワーク）、
矢部満氏（葉山グリーンインフラ研究会）
- ・参加者：19 名（担当理事：矢部・畑野・高田、正会員ボランティア 2 名）
- ・講演会の概要

1. 身近な山で起こっていること、そのメカニズムは？
2. 災害リスクの小さい山のイメージは？安全な山とは？
3. 災害リスクの小さい山のための行政や住民の取り組みは？
4. 身近な山にどう向き合えばいいか？

1. で、増田氏が写真とともに葉山町内の大雨に伴うリスクの過去の実例（住宅浸水、泥が道路を被う、30m の崖崩れなど）を紹介した。

2. 3. ではそれらの実例について矢部氏が解説し、従来のグレーインフラに対するグリーンインフラの取り組み事例やメリットとデメリット、国による「森林経営管理制度」「森林環境税」などの制度や税金の紹介と葉山町でどのように導入できるかの提案があった。

その後休憩をはさみ、4. で参加者との質疑応答やクロストークを行った。地域住民の団体が実際に取り組んでいる活動の紹介、税金を使うアイデア、伐採木利用の提案、葉山町の住宅地にどんな危険があるかを住民が知ることが重要、森林管理に取り組んでいる新しい団体との連携など、活発な意見交換がなされた。

- ・事業名：講演会②
- ・日 時：令和 5 年 3 月 26 日（日）13:30～16:00
- ・場 所：葉山福祉文化会館 大会議室
- ・タイトル：エシカルな暮らしのために
- ・講師：アップサイクルジャパン 代表 西村正行氏
- ・参加者：25 名（他まちづくり協会スタッフ 3 名、正会員ボランティア 2 名）
- ・講演会の概要

1. 西村正行氏の基調講演
2. 会場からの質疑応答
3. 5～8 人ぐらいの小グループに分かれてのディスカッション

(4) まちづくり館の管理及び運営

- ①まちづくり館の設備等の管理及び整理整頓の他、必要に応じて葉山町図書館長と協議を行うまちづくり館の基本的な管理運営については、住民が自発的に行うまちづくり活動を支援するための拠点として、市民活動サポートセンターの役割を果たす

べく仕様書に基づき実施した。「館利用案内」パンフレットを発行し、配布することで、認知度も高まった。さらに交流の場の提供を通して、町民のまちづくり活動への興味・関心を一層高めるため、下記のような工夫を重ねた。また、今年度も新型コロナウイルス感染予防の対策も行い、来館者が安全に利用できるよう努めた。

まちづくり館への誘導、館内のレイアウトや表示に関するもの：

- ・ 図書館 1 階の看板、2 階への踊り場での情報提供
- ・ 図書館 2 階通路では HP とリンクした「登録団体紹介」を壁一面使って大きく掲示。入口脇の壁には「登録団体 Report」として、登録団体の活動状況を紹介
- ・ 交流スペースの動線を考慮してレイアウトを変更し、館ギャラリー閲覧者がゆっくりに利用できるようなスペースを確保
- ・ 刊行物で人気の「葉山の鳥」リーフレットに続き「葉山の山野草」を発行した。いずれも人気を博している。
- ・ 資料の配架やポスター掲示の仕方の見直し、本箱の整理
- ・ 登録団体の販売物、協会の刊行物の掲示方法の見直し

サービス・企画に関するもの：

- ・ 認定 N P O 法人として開示文書を館内に公開設置
- ・ まちづくり相談対応として、団体の立ち上げ等市民活動の相談や地域情報に関する問い合わせ等への対応。

■提供するサービス内容と利用状況

1. 「交流の場」スペースの提供
 - ・ 登録団体の定例会、打ち合わせ、ワークショップなど : 9 団体
 - ・ その他町内の活動団体の作業、打ち合わせなど : 5 団体
 - ・ 取材、見学など : 今年度は 0
 - ・ 「まちづくり館ギャラリー」打ち合わせ、展示会場
 - ・ 隔月ほぼ第 2 金曜日の午後、「きらく座」会場として(※今年度は 1 回)
2. 登録団体の刊行物の頒布
3. 協会刊行物の頒布
4. まちづくり活動や町内イベント等の情報や参考資料の提供
5. コピー機、会議・作業スペース等の利用サービスの提供
6. まちづくり活動に関する作業用 P C の設置
7. メダカの水槽の設置などによる憩いの場の提供
8. 「ひとかごりサイクル」の設置による不用小物の交換・再利用
9. 協会の運営に関するもの
 - ①まちづくり館利用者ニーズと運営業務の改善を目的とした利用者アンケートの実施、まちづくり来館者へ紙面でのアンケート、並びにインターネット上での同内容のアンケートを実施した。別紙参照
 - ②まちづくり館の案内パンフレットを現状に合わせてリニューアルした案内専用 (A4

- サイズ) のパンフレットを作成。別紙参照
- ③全 37 登録団体を紹介するパンフレット (A4) を作成。別紙参照
 - ④甲乙協議の結果、必要と認められた業務

3. 自主事業

(1) まちづくり活動情報の収集及び提供

①登録団体等の刊行物委託販売

登録団体の活動成果物 (冊子、ガイドブック等) の作成補助および委託販売

②刊行物の作成・販売

協会運営に必要な協会・登録団体の活動紹介、館の利用案内等の作成と協会刊行物の頒布

③団体活動紹介

図書館 2 階通路にて、HP とリンクした「登録団体紹介」を継続して壁一面を使って大きく掲示。これにより団体への問い合わせもある。まちづくり館入口脇の壁には「登録団体 Report」として団体の活動状況を紹介。

④登録団体活動及び協会事業記録集作成

前年度の登録団体の活動と協会の運営・事業内容を一冊にまとめた記録集

(2) 相談業務

(3) 交流・連携・啓発業務

①登録団体活動支援 (サポート費)

申請団体に個別に丁寧なヒアリングを行い、具体的に必要なものを購入するためのサポート費を、今までの最高額 40 万円の予算で交付。

②第 21 回まち fes 葉山の開催

③第 10 回「葉山ウォーク」実施

案内人により町の自然や歴史、人々の暮らしを理解しまちづくりへの関心を醸成。今年度は、長柄の春を探しに。

日時：3 月 19 日 (日) 午前 9 時 30 分～午後 2 時 30 分

タイトル：「第 10 回葉山ウォーク～長柄の春を探しに」

参加者：15 名 ガイド 2 名 山口明、鎌倉智士、随伴ボランティア 2 名

コース：出発 川久保(セブンイレブン長柄店前)⇒子の神社⇒くれたけの鐘⇒阿部倉山⇒仙光院御霊神社⇒大山庚申塔⇒長徳寺廃寺跡⇒福蔵寺⇒大神宮⇒長運寺⇒笠原商店⇒前の庚申塔⇒解散 長柄交差点バス停付近 (実施報告書参照)

(4) まちづくり館の管理及び運営

自主事業はなし

(5) その他まちづくり活動の支援

①寄付金・募金活動の推進

②会員増加の推進

協会の運営活動を正常化するため、今年度は 50 名の新正会員を確保した。

4. 運営報告

葉山まちづくり協会の業務を遂行してゆくために、毎月定例会および理事会を行い、時々の問題点の解決を図っている。同時に総会への付議事項を検討し、予算執行状況の検討、事業計画の進捗状況の確認を行っている。

理事会の翌々日には、話し合いの内容について速やかに事務対応ができるよう事務局会議を開き、より良く理事会の意向に沿った業務の推進を心がけた。その他、会員・登録団体と協会との関係をより緊密にするための施策として「館だより」配信についても継続して実施した。

交流会は今年度2年ぶりに2回開催、講演会も2回開催した。

(1) 総会：通常総会 令和4年5月29日（日）

第1号議案 令和3年度事業報告ならびに収支決算報告承認の件

第2号議案 令和4年度事業計画案ならびに収支予算案承認の件

第3号議案 会員への優遇措置の件

第4号議案 役員選任の件

正会員数：54名

出席者数：24名（出席13名、委任状11名）

（7月17日臨時総会で、監事よりこの総会は成立しておらず決議は無効との報告がなされた）

(2) 総会：臨時総会 令和4年7月17日（日）

第1号議案：臨時総会開催の意味と目的

説明、質疑応答、終了後、意見交換

正会員数：54名

出席者数：46名（出席29名、委任状：理解17名、不理解2名、不明6名）

(3) 総会：臨時総会 令和4年11月19日（土）

第1号議案 令和3年度事業報告ならびに収支決算報告承認の件

第2号議案 令和4年度事業計画案ならびに収支予算案承認の件

第3号議案 役員選任の件

正会員数：70名

出席者数：60名（出席26名、書面表決26名、委任状8名）

(4) 総会：通常総会 令和4年12月30日（土）

第1号議案 役員選任の件 書面総会

正会員数：72名

出席者数：43名（書面表決42名、委任状1名、無効12名）

(5) 理事会：基本的に毎月第3水曜日に開催（今年度は以下の日に実施）

令和4年4月6日、4月13日、5月25日、6月14日、7月6日、7月20日、8月

24日、9月21日、10月5日、10月21日、10月25日、11月29日、12月10日、12月30日、
令和5年1月4日、1月13日、1月27日、2月14日、2月28日、3月14日、3月28日

(6) 交流会：

2月4日	図書館2階ホール	出席者 48名
3月26日	福祉文化会館大会議室	出席者 22名